



令和6年度
「新しい時代の学校構想プロジェクト」

研究発表会

学校改革（夢現プロジェクト）～すべての生徒が夢中になる学びの在り方～



令和6年12月6日
京都市立向島東中学校



CONTENTS

- ▷ はじめに
- ▷ 学校経営方針
- ▷ 学校概要
- ▷ 学校沿革史
- ▷ 年間行事予定
- ▷ 学校改革「夢現プロジェクト」概要
- ▷ 研究同人

はじめに

『不易流行』私が今一番意識している言葉です。

本校が進める新しい学校構想『夢現プロジェクト』も今年で5年目を迎えます。5年前、本校のあらゆる課題を洗いだし、その克服に向け何が必要なのか。当時の教職員で真剣に話し合い、既存の概念に捉われない大胆かつ柔軟な発想のもと改革の一步を踏み出しました。学校教育目標『未来の世界をたくましく生き抜く学び手の育成』にはその深い思いが込められています。予測不可能な未来社会に向け、『何を学ぶか』『どのように学ぶか』そして『何ができるようになったか』といった質の高い学びを実現していくことが求められます。つまり生涯にわたり能動的に学ぶ姿勢を身につけることです。そのような視点で考えると本校にとって学力向上は喫緊の課題であり、授業改革を柱にここまで取り組んで参りました。

『学びに没頭する』『脳に汗をかく』授業づくり、またその学びが安心して行える『つながり』を意識した環境づくりに教職員は日々努力を重ねています。

そしてまたこのプロジェクトが現在も進化し続けるのは、教職員の日々の生徒たちへの粘り強い関わりと寄り添い、そして妥協せず本気で生徒たちに向き合う姿勢があるからだと思います。

働き方改革が求められる今、不易とは子どもを深く思う気持ちだと思います。子どもの状況をしっかりと見とり、必要な手立てを必要な時期に打つことです。子どもたちの未来を信じること。子どもたちがなりたい自分になるために。夢をかなえるために。これからも全力で教育活動に取り組み、子どもたちに向き合い続ける向島東中学校でありたいと思います。

本日お越しの皆様には、まだまだ道半ばではありますが本校の実践を公開授業や研究報告会でお伝えしたいと思います。また報告会では直接生徒たちにお話を聞いて頂く時間も設けております。どうぞ生徒たちが日々感じていることも聞いて頂ければありがたいと思います。

結びにあたり、本校の『学び』にこれまでご助言頂きました深沢幹彦先生はじめ、本校の取組み推進にご尽力いただいております京都市教育委員会各課の皆様、本校の教育活動にご支援いただいておりますすべての皆様に心からお礼申し上げます。

令和6年12月6日

京都市立向島東中学校
校長 山口 達也

最高教育理念

『「愛」と「学び」と「志」をもった生徒』

学校教育目標

『未来の世界を、たくましく生き抜く学び手の育成』



◆目指す生徒像

「愛」 人を大切にする生徒

～人（自他ともに）を大切に思い、つながり、高め合う姿～

「学び」 学びに夢中になる生徒

～学びに没頭し、他者と協働しながら教科の魅力を楽しむ姿～

「志」 自律・自立のもと自己変革できる生徒

～目標を立て、見通しを持ち、自己調整しながら成長する姿～

◆生徒に付けたい資質・能力

『対話力』

○事象との対話…知的好奇心や探究心をもって向き合う姿

○自己との対話…自己理解、自己調整しながら、粘り強く取り組み、

その過程を振り返る中で自己認知につなげる姿

○他者との対話…思いやりをもって、つながり、高め合う姿

◆目指す学校像 『みんなの笑顔があふれる学校』

①すべての人の人権が守られた、安心・安全な学校

②社会の規範を遵守した学校

③保護者・地域と強い信頼関係で結ばれた学校

④生徒が、教職員が、誇りを持てる学校

◆目指す教職員像 『深い生徒理解と強い絆で結ばれた教職員』

①教育に携わる者としての志と責任感をもった教職員

②一人ひとりの生徒の内面や背景をしっかりと理解し、「生き方に迫る指導」をする教職員

③謙虚に他者の意見にも耳を傾け、自らの姿勢を厳しく見つめ直し成長する教職員

④生徒にとって「社会で生きていくためのモデル」となる教職員

⑤本校の実態をしっかりと把握し、その課題の解決に向けて「チーム」として協働できる教職員

⑥互いに尊重し合い、高め合い、困ったときには助け合える教職員

◆今年度の重点課題

- ・ 夢現プロジェクト(授業改善・教育課程)の進化
- ・ 愛着アプローチの視点を持った生徒支援及び総合育成支援
- ・ 多様性理解教育の推進

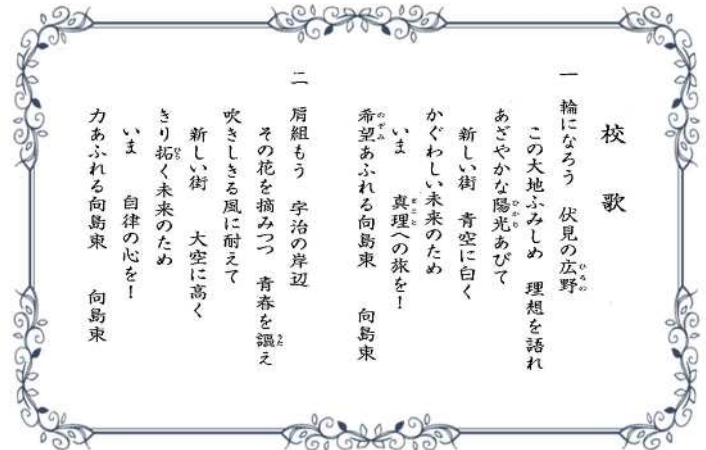
学校概要

校区の概要

本校は、京都市の南端部に位置し、京都市の都市計画に基づく向島ニュータウンの建設や人口の急増にともない、昭和59年（1984年）向島中学校より独立した開校40年目の学校である。

校下は、宇治川の堤防に沿って昔のたたずまいを残した旧向島の街並みと、近郊農村と新興住宅と、もと巨椋池干拓地の低湿地帯であったところに建設された高層住宅とが共存している。

校歌



校章・マスコット



東丸くん

校章の由来

「向島」のイニシャル M を中央に配し「東」はEastのEとカタカナの「ヒガシ」のヒを合わせ持つデザインにした。外輪円は宇宙を表現し、向島東中学校は宇宙の中心にあり、その背景としてのEは宇宙を突き抜け果てしなく伸び上がり、物事を追及する姿を象徴している。向島東中学校の生徒が広い視野に立ち、円満な人間への成長を願って作成した。
(三浦道弘先生の作)

教職員数

※ 兼務教員、非常勤講師も含む

	校長	教頭	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術家庭	英語	育成	新採指導	養護	事務	管理用務	学校司書	総務支援員	SC	ALT	校務支援員	部活動指導員	合計
男	1		1	2	3	2		1	1	2	2	1	2			1		2		1		2	24
女		1	2				1		1		2	1		1	1		1	1	1		2	2	17
計	1	1	3	2	3	2	1	1	2	2	4	2	2	1	1	1	1	3	1	1	2	4	41

生徒数

学年	1年生	2年生	3年生	育成	合計
男子	24	22	33	5	84
女子	31	22	23	3	79
合計	55	44	56	8	163
学級数	2	2	2	2	9

設置部活数

体育系

サッカー（男女）、陸上（男女）

男子バスケットボール、女子バスケットボール
女子バレーボール

文化系

吹奏楽、放送、美術


学校沿革史

57年度	2.25	京都市立向島中学校分校建設促進委員会結成	
58年度	4.1	京都市立向島中学校東分校として本校内に設置	
	5.11	京都市立向島中学校東分校建設委員会設立	
	9.16	校名「京都市立向島東中学校」に内定	
	11.9	校章決定	
	3.8	校歌決定	
	3.23	建設工事完了	
59年度	4.1	森 松齋 初代校長着任	
	4.4	開校式	
	4.9	第1回入学式	
	8.27	第1回生徒会リーダー講習会実施	
	9.26	第1回向東祭(体育の部)	
	10.11	(文化の部)	
	10.31	中国西安市教育局代表団の本校訪問 歓迎式	
		日中友好学校交流作品交換式典(交流校 西安第六十中学校)	
	3.15	第1回卒業式	
60年度	4.16	中国陝南省観光経済調査団来校	
	7.27	中国西安市西安第六十中学校と友好学校交流議定書調印	
	11.28	中国西安市教育局友好代表団来校	
	12.21	「いじめ追放宣言」決議	
61年度	8.19	第1回「音楽のタベ」開催	
		(主催向島東地域生徒指導連絡協議会)	
	10.18	第25回近畿中学校技術・家庭研究大会会場	
63年度	4.1	西 誠次 2代校長就任	
	11.14	第1回「ふれあいキャンペーン」実施	
平成元年度	5.1	視聴覚教室改装	
	11.14	中国西安市の各区の教育長来校	
	12.20	中国西安市体育学院の先生と太極拳の指導者来校	
2年度	7.19	第1回「ふれあいフラワーキャンペーン」実施	
3年度	11.22	アメリカより視察団来校	
	3.20	「コンピューター教室」完成	
4年度	4.1	大村 武 3代校長就任	
	7.9	中国西安市より「兵馬俑」を贈呈	
	11.25	中国西安市教育考察団来校	
5年度	10.3	創立10周年記念式典	
	11.29	中国西安市教育考察団来校	
6年度	4.1	西 誠次 4代校長就任	



7年度	4.1	阿部 純一 5代校長就任
	8.23	グラウンドフェンス防球ネット増設拡張
	8.30	保健室・職員室エアコン設置
9年度	4.1	衛藤 正利 6代校長就任
	12.20	第1回クリーンキャンペーン「きれいな街向島東」 (主催 向島東地域生徒指導連絡協議会)
		京都市教育委員会英語科フロンティアスクール研究中間報告会
	3.1	エ芸ルーム設置(旧 金工室)
	3.20	カウンセリングルーム設置(2階)
10年度	9.30	育成学級教室設置(旧 理科室改装)
11年度	4.1	育成学級設置
	4.1	図書室 音楽室エアコン設置
	8.30	京都市教育委員会英語科フロンティアスクール研究報告会
	11.16	藤井 満 7代校長就任
12年度	4.1	少人数授業実施
	5.10	「生き方探究チャレンジ体験」職場体験学習実施
	11.7	談話室・相談室全面改装
	12.20	京都市教育委員会英語科フロンティアスクール研究報告会
	2.16	ランチルーム(いきいき交流ルーム)新設
13年度	8.29	配膳室設置(旧 会議室)
	9.10	学校給食開始
	10.1	生徒用トイレ全面改装(快適トイレ)
	11.30	京都市教育委員会「21世紀の学校づくり」推進 事業研究指定校
14年度	5.1	1、2階普通・特別教室出入口改修(木製に)
	8.25	京都市教育委員会教育功労賞受賞
	11.1	グラウンド・プールトイレ入口扉設置
15年度	8.25	3階普通教室出入口扉改修(木製に)
	10.11	創立20周年記念式典
16年度	8.17	小中合同研修会実施 実施
	12~3月	小中連携 算数・数学指導開始
	1.25	普通教室 空調機設置工事開始
17年度	4.1	オープンスクール実施(小学生の授業体験と生徒会の交流)
	6.27	峠 達哉 8代校長就任
	1.12	普通教室 空調機使用開始
18年度	1.18	京都市教育委員会パイロットスクール(小中連携指導)発表
19年度	12.19	校内LAN設置導入
	3.26	向島東保幼小中連携協議会 発足
20年度	5.1	西側外壁外周道路へ簡易ガードレール設置



	12.1	創立25周年を迎える	
22年度	8.22	グラウンド全面改修	
23年度	4.1	屋上改修及び太陽光発電設備設置	
24年度	11.8	高岡 敏雄 9代校長就任	
25年度	4.5	京都市教育委員会教育功労賞受賞	
	5.2	体育館東側及び南側スロープ設置	
		創立30周年記念式典	
		体育館ステージ 一文字幕一式新調	
26年度	4.1	校門校名板及び玄関校章改修	
	4.1	横田 浩一 10代校長就任	
		文部科学省「人権教育研究推進事業」研究指定校(1年次)	
27年度	4.1	文部科学省「人権教育研究推進事業」研究指定校(2年次)	
		京都市教育委員会「豊かな学びリーディングスクール」研究指定校	
	1.14	文部科学省「人権教育研究推進事業」研究指定、京都市教育委員会「豊かな学びリーディングスクール」研究指定 公開授業及び研究報告会	
	2.8	2階東側及び1階身障者用及びグラウンドトイレ改修	
28年度	4.1	文部科学省「教科等の本質的な学びを踏まえたアクティブ・ラーニングの視点からの学習・指導方法の改善のための実践研究」研究指定校(1年次)	
		京都市教育委員会「豊かな学びリーディングスクール」研究指定校	
	2.3	文部科学省「教科等の本質的な学びを踏まえたアクティブ・ラーニングの視点からの学習・指導方法の改善のための実践研究」研究指定校、京都市教育委員会「豊かな学びリーディングスクール」研究指定校 公開授業及び授業研究会	
	3.8	教室棟屋上防水及び屋内運動場屋根改修	
29年度	4.1	日下部 和宏 11代校長就任	
	4.1	文部科学省「教科等の本質的な学びを踏まえたアクティブ・ラーニングの視点からの学習・指導方法の改善のための実践研究」研究指定校(2年次)	
	5.8	京都市教育委員会「学力向上推進事業重点支援校」ブロック指定	
	11.29	文部科学省「教科等の本質的な学びを踏まえたアクティブ・ラーニングの視点からの学習・指導方法の改善のための実践研究」研究指定 公開授業及び研究報告会	
30年度	4.1	中村 祐之 12代校長就任	
	4.1	文部科学省「教科等の本質的な学びを踏まえたアクティブ・ラーニングの視点からの学習・指導方法の改善のための実践研究」研究指定校(1年次)	
	4.18	京都市教育委員会「学力向上推進事業重点支援校」ブロック指定	
	11.29	文部科学省「教科等の本質的な学びを踏まえたアクティブ・ラーニングの視点からの学習・指導方法の改善のための実践研究」研究指定 公開授業	
令和元年度(平成31)	4.1	文部科学省「教科等の本質的な学びを踏まえたアクティブ・ラーニングの視点からの学習・指導方法の改善のための実践研究」研究指定校(2年次)	
	4.5	京都市教育委員会「学力向上推進事業重点支援校」ブロック指定	

2年度	11.21	文部科学省「教科等の本質的な学びを踏まえたアクティブ・ラーニングの視点からの学習・指導方法の改善のための実践研究」研究指定 公開授業
		新型コロナウイルス感染拡大による休校措置
	10.1	学校運営協議会発足
3年度		新しい学校作りに向けての校内プロジェクト発足
	10.2	理科室のエアコン設置
	4.1	竹田 久美子 13代校長就任
4年度		「新しい時代の学校教育構想『夢現プロジェクト』」の実践(1年次)
		授業改革推進・単元テスト導入・複数担任制実施
	2.1	GIGA 教室の設置
	4.1	文部科学省「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」指定
		「新しい時代の学校教育構想『夢現プロジェクト』」の実践(2年次)
5年度	5.9	自学自習教室「学びの聖地」の設置
	7.2	技術室エアコン設置
	11.1	京都市教育委員会 教育功労賞受賞
	4.1	新しい時代の学校教育構想
		「夢現プロジェクト」の実践(3年次)
	6.14	創立40周年記念式典
6年度	11.10	「向島東中学校 学校改革『夢現プロジェクト』チーム」 第22回 京都市教育委員会 教育実践功績表彰 受賞
	12.8	新しい時代の学校教育構想
		「夢現プロジェクト」研究発表会
	4.1	山口 達也 14代校長就任
		新しい時代の学校教育構想
		「夢現プロジェクト」の実践(4年次)
	5月	PTAサポーター制度「ひがしまるさん」導入
		自学自習教室「学びの聖地2」の設置・整備
	7.2	中国西安市の中学生との交流会
	10.2	向東祭音楽の部 京都文教大学(同唱館)開催
		向島小・向島藤の木小6年生と合同合唱実施
	11.2	「京都市子どもの読書活動優秀実践団体表彰 教育長賞」受賞
	11.12	「向島東中学校 すまいる(働き方改革推進チーム)」
		第23回京都市教育委員会 教育実践功績表彰 受賞
	12.6	新しい時代の学校教育構想「夢現プロジェクト」研究発表会



令和6年			教職員			5月			教職員			6月			教職員			7月			教職員			8月			教職員			9月			教職員		
1	月	春季休業	職員会議、学年会、教科会	1	水	家庭訪問(1年)① 個別懇談(2・3年)① 校長講話	補導部会	1	土				1	月	縦割り学活(音楽)	運営委員会	1	木					1	日											
2	火	春季休業	学年会、分掌部会、 教科会、研修会	2	木	家庭訪問(1年)① 個別懇談(2・3年)①		2	日	Gゴルフ予備日(地域スゴ)		2	火	2年確プロ① 育成合同球技大会	成績締切 補導部会 学年会	2	金					2	月	育成科学センター学習 非行防止教室		運営委員会									
3	水	春季休業	部活動顧問会、総合育成支 援部会、夢現実行委員会	3	金	憲法記念日		3	月		運営委員会	3	水	2年確プロ② 中央専門委員会		3	土					3	火	合唱タイム①		補導部会									
4	木		職員会議、分掌部会、 研修会(総合育成支援教育)	4	土	みどりの日		4	火		補導部会	4	木			4	日					4	水			学年会									
5	金		新年度準備、環境整備、 研修会(夢現)	5	日	こどもの日		5	水			5	金	第1回修学旅行説明会 食教育セミナー	漢検①	5	月					5	木	合唱タイム②											
6	土			6	月	振替休日		6	木			6	土			6	火					6	金	合唱タイム③											
7	日			7	火		補導部会	7	金			7	日			7	水	学校閉鎖日				7	土												
8	月	着任式・始業式		8	水	中央専門委員会	職員会議、研修会	8	土			8	月	縦割り(音楽)	運営委員会	8	木	学校閉鎖日				8	日												
9	火	入学式		9	木		第2回学校祭委員会	9	日			9	火		補導部会	9	金	学校閉鎖日				9	月	中央専門委員会		運営委員会									
10	水	身体計測	職員会議	10	金			10	月		運営委員会	10	水	三者懇談会①		10	土					10	火	合唱タイム④		補導部会									
11	木	1年ジョイントプログラム		11	土			11	火	生徒総会	補導部会	11	木	三者懇談会②		11	日	山の日				11	水			研修会									
12	金	4限避難訓練 5限部活動紹介	小中主任会	12	日			12	水		学年会	12	金	三者懇談会③		12	月	振替休日				12	木	合唱タイム⑤											
13	土			13	月		運営委員会	13	木	3組校外学習		13	土			13	火	学校閉鎖日				13	金	合唱タイム⑥											
14	日			14	火	3年確プロ① 2年職場体験事前	補導部会 6限小中連絡会(1年)	14	金			14	日			14	水	学校閉鎖日				14	土												
15	月		運営委員会	15	水	3年確プロ② 2年職場体験①	学年会	15	土			15	月	海の日		15	木	学校閉鎖日				15	日	区民運動会 敬老の日											
16	火	1年生を迎える会		16	木	2年職場体験②		16	日			16	火	三者懇談会④	補導部会	16	金	学校閉鎖日				16	月												
17	水	学級委員認証式 中央専門委員会	学年会	17	金	2年職場体験③		17	月	縦割り結団式	運営委員会	17	水	三者懇談会⑤		17	土					17	火	合唱タイム⑦											
18	木	全国学力学習状況調査 (国・数)		18	土			18	火	第1回道路保護者会	補導部会	18	木			18	日					18	水			職員会議									
19	金	春休激励会 部活動ミーティング		19	日	Gゴルフ(地域スゴ)		19	水	学期末テスト①	教科会	19	金	終業式 伏見支部生徒会交流会		19	月	学校閉鎖日				19	木	合唱タイム⑧ 第2回修学旅行説明会											
20	土			20	月	3組校外学習(伏見稲荷)	授業力向上週間(～25日)	20	木	学期末テスト②		20	土			20	火				夏季研修会	20	金	合唱タイム⑨											
21	日			21	火		補導部会 財務委員会	21	金	学期末テスト③		21	日			21	水				夏季研修会 運営委員会	21	土												
22	月		運営委員会	22	水		校内授業研	22	土			22	月	夏季休業 HIGASHIサマースクール		22	木	HIGASHIサマースクール			小中合同研修会	22	日	秋分の日 区民運動会 予備日 振替休日											
23	火			23																															

3字期

10月			教職員			11月			教職員			12月			教職員			令和7年			1月			教職員			2月			教職員			3月			教職員		
1	火	合唱タイム② 前日準備		1	金	1年校外学習(高校見学) 2年校外学習(友愛の丘)		1	日				1	水	元日 冬季休業			1	土					1	土													
2	水	向東祭 音楽の部		2	土			2	月			授業力向上週間(～6日) 運営委員会	2	木	学校閉鎖日			2	日					2	日													
3	木	文化の部学年リハーサル 前日準備		3	日	文化の日		3	火			成績締切	3	金	学校閉鎖日			3	月					3	月							職員会議 小中連絡会(園の水小) 小中連絡会(南島小)						
4	金	向東祭 文化の部		4	月	振替休日		4	水			校内研修会	4	土				4	火					4	火													
5	土	土曜学習会		5	火			5	木				5	日				5	水	中央専門委員会				職員会議 研修会	5	水						成績締切						
6	日	AM向島体験(グランドゴルフ)		6	水		職員打合せ 補導部会	6	金	公開授業 研究発表会			6	月				6	木					6	木	中央専門委員会												
7	月		運営委員会	7	木			7	土				7	火	始業式	学年会		7	金					7	金	公立中期選抜					学級編成①							
8	火	3年保育実習	補導部会	8	金	立会演説会 検②	漢	8	日				8	水	漢字王 中央専門委員会	職員会議 研修会		8	土					8	土													
9	水	確プロ①(全学年) 中央専門委員会(前期最終)	3年成績締切 職員打合せ、学年会	9	土			9	月			運営委員会	9	木				9	日					9	日													
10	木	確プロ②(全学年) 第2回道路説明会		10	日			10	火			補導部会 3年道路検討会	10	金				10	月					運営委員会	10	月					運営委員会 学級編成②							
11	金	3組校外学習		11	月		運営委員会	11	水	中央専門委員会		職員会議 学年会	11	土	土曜学習会			11	火	建国記念の日				11	火													
12	土			12	火	認証式 中央専門委員会	補導部会	12	木				12	日				12	水					職員打合せ 学年会	12	水	3年生を送る会											
13	日			13	水	テスト前週間	職員会議	13	金				13	月	成人の日			13	木						13	木	卒業式予行・準備											
14	月	スポーツの日		14	木			14	土				14	火		補導部会		14	金						14	金	第41回卒業証書授与式											
15	火		3年道路検討会	15	金			15	日				15	水				15	土	土曜学習会					15	土												
16	水		職員会議	16	土	土曜学習会		16	月	三者懇談会①	運営委員会		16	木	3年学期末テスト①			16	日						16	日												
17	木	3年道路相談①		17	日			17	火	三者懇談会②	補導部会		17	金	3年学期末テスト② 新入生オープンスクール 入学説明会			17	月					運営委員会	17	月												
18	金	1・2年教育相談① 3年道路相談②		18	月		運営委員会	18	水	三者懇談会③			18	土				18	火					補導部会 財務委員会	18	火												
19	土			19	火			19	木	三者懇談会④			19	日				19	水	1・2年学期末テスト①					19	水	令和6年度修了式 伏見支部生徒会交流会											
20	日	AM向島体験(予備日)		20	水	学期末テスト①	職員打合せ 学年会	20	金	三者懇談会⑤			20	月	避難訓練(地震)	運営委員会		20	木	1・2年学期末テスト②					20	木	春分の日											
21	月	1・2年教育相談② 3年道路相談③	運営委員会	21	木	学期末テスト②		21	土				21	火		補導部会 財務委員会		21	金	1・2年学期末テスト③					21	金					小:卒業式							
22	火	1・2年教育相談③ 3年道路相談④	補導部会 財務委員会	22	金	学期末テスト③		22	日				22	水	1・2年確プロ①			22	土						22	土												
23	水	1・2年教育相談④ 3年道路相談⑤	職員打合せ 研修会	23	土	助産感謝の日		23	月				23	木	1・2年確プロ②			23	日	天皇誕生日					23	日												
24	木	伏見支部授業研究会		24	日			24	火	終業式 伏見支部生徒会交流会			24	金		15:40～英検③		24	月	振替休日					24	月					小:修了式							
25	金	1・2年教育相談⑤		25	月		運営委員会	25	水	冬季休業			25	土	土曜学習会			25	火						25	火												
26	土			26	火	クリーンキャンペーン	補導部会 財務委員会	26	木				26	日				26	水	中央専門委員会				職員会議	26	水												
27	日			27	水	縦割り 中央専門委員会	職員打合せ	27	金				27	月				27	木						地生連絡会	27	木											
28	月	1・2年教育相談⑥	運営委員会	28	木	学校保健委員会		28	土				28	火			3年成績	28	金						28	金												
29	火	3年修学旅行①		29	金	育成合同運動会		29	日				29	水											29	土												
30	水	3年修学旅行②		30	土			30	月	学校閉鎖日			30	木											30	日												
31	木	3年修学旅行③ 2年奉還体験						31	火	学校閉鎖日			31	金	2年校外学習(大阪方面)										31	月												
		22				20				17					19					18							13											
83												50				3年3月授業時数 10 年計				201				2年 204				1年 203										

京都市立向島東中学校

学校改革「夢現プロジェクト」 概要



Ⅰ プロジェクトの概要

1. はじめに

本校は41年前の創立当初より、生活環境改善に支援を要する生徒が多数在籍する中で、保護者や地域と地道な努力を重ね、信頼関係を築きながら教育活動に取り組んできた学校である。

本校教育においては、生徒に寄り添った日々の生徒指導、生徒の人権意識を育む人権学習等、創立以来続いてきた熱意ある指導や、チームとして成し遂げてきた高い同僚性は、現在も脈々と受け継がれている。

しかしながら、学力という観点で見ると、文部科学省が提示している目標や、京都市立中学校で生徒が中学校3年間の学習内容を計画的に総復習し、弱点克服につなげる「学習確認プログラム」の平均的な得点の域にはなかなか到達せず、長い期間多くの教職員が苦勞しながらも、その状況を変えることの難しさを感じてきた。生徒に学力を付けて中学校を卒業させるということは、卒業後に高等学校への進路を切り拓くだけでなく、その先の人生を豊かに、幸せに生きるための糧となる。

「誰一人取り残すことなく、生徒一人一人の社会的自立を果たす」ことが、生徒、保護者や地域の願いであり、教職員の使命であることを背景に、このプロジェクトには、『夢現』『夢(願い)を実現する』という名称がつけられている。

夢現プロジェクトでは、授業改革を軸として、担任制、評価の在り方、地域資源を活用した教育活動など、新たな視点を持ち、時代の流れを先取りするような前例にとらわれない新しい学校づくりを進めてきた。

2. 最高教育理念

「愛」と「学び」と「志」をもった生徒

3. 教育目標

未来の世界を、たくましく生き抜く学び手の育成

4. 生徒像

○「愛」人を大切にする生徒

～人(自他ともに)を大切に思い、つながり、高め合う姿～

○「学」学びに夢中になる生徒

～学びに没頭し、他者と協働しながら教科の魅力を楽しむ姿～

○「志」自律・自立のもと、自己変革できる生徒

～目標を立て、見通しを持ち、自己調整しながら成長する姿～

5. 本校で付けたい資質・能力

対 話 力

事象との対話 … 事象や教材に対して、知的好奇心や探究心をもって向き合う姿

自己との対話 … 自己理解、自己調整しながら、粘り強く取り組み、またその過程を振り返る中で自己認知につなげる姿

他者との対話 … 思いやりをもって、つながり（相互調整力）、高め合う姿

◆各部が提案する資質・能力

研究部

～学びに没頭し、他者と協働しながら教科の魅力を楽しむ姿～

探究心、アセスメント力、情報リテラシー、自己（相互）調整力、論理的思考力、表現力

（ 向き合う → 見通す → 情報の選択・活用 → 協働 → 思考の整理 → まとめる ）

生徒支援部

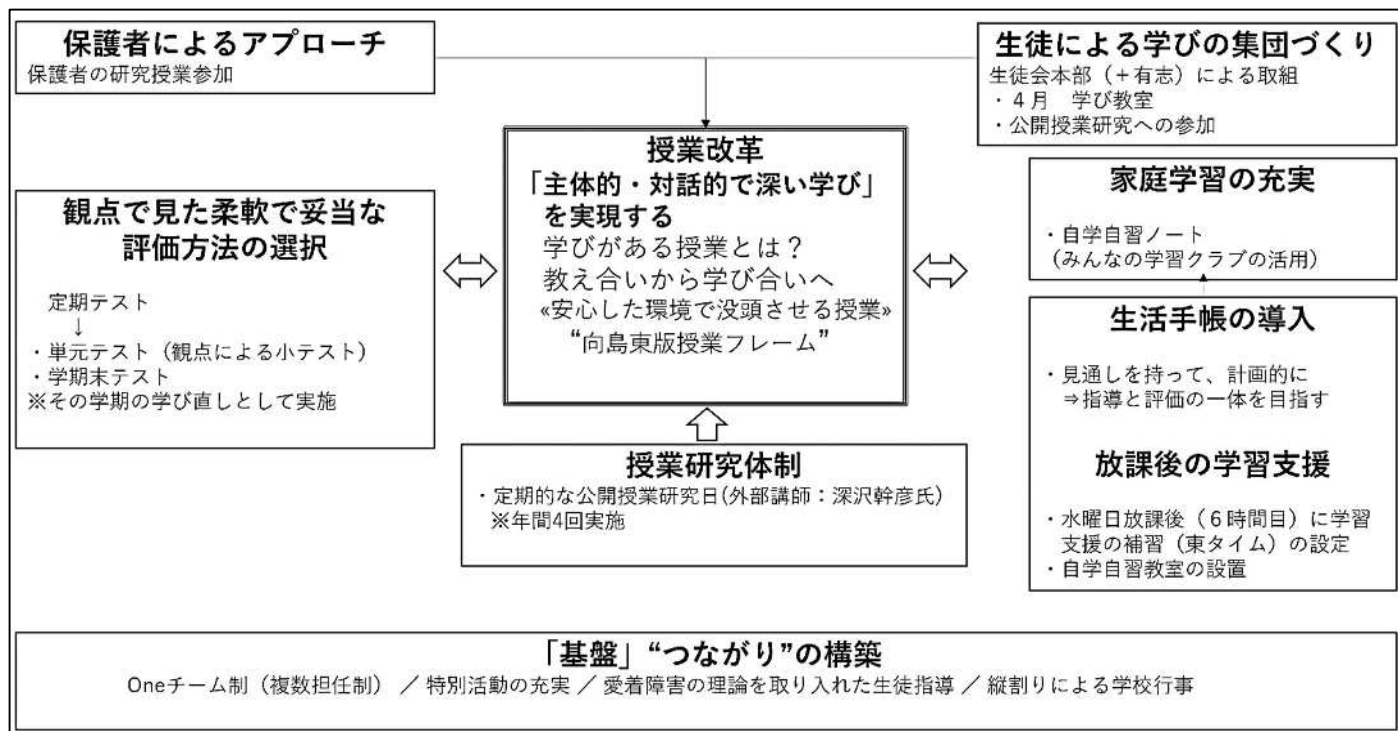
～目標を立て、見通しを持ち、自己調整しながら成長する姿～

自己指導能力

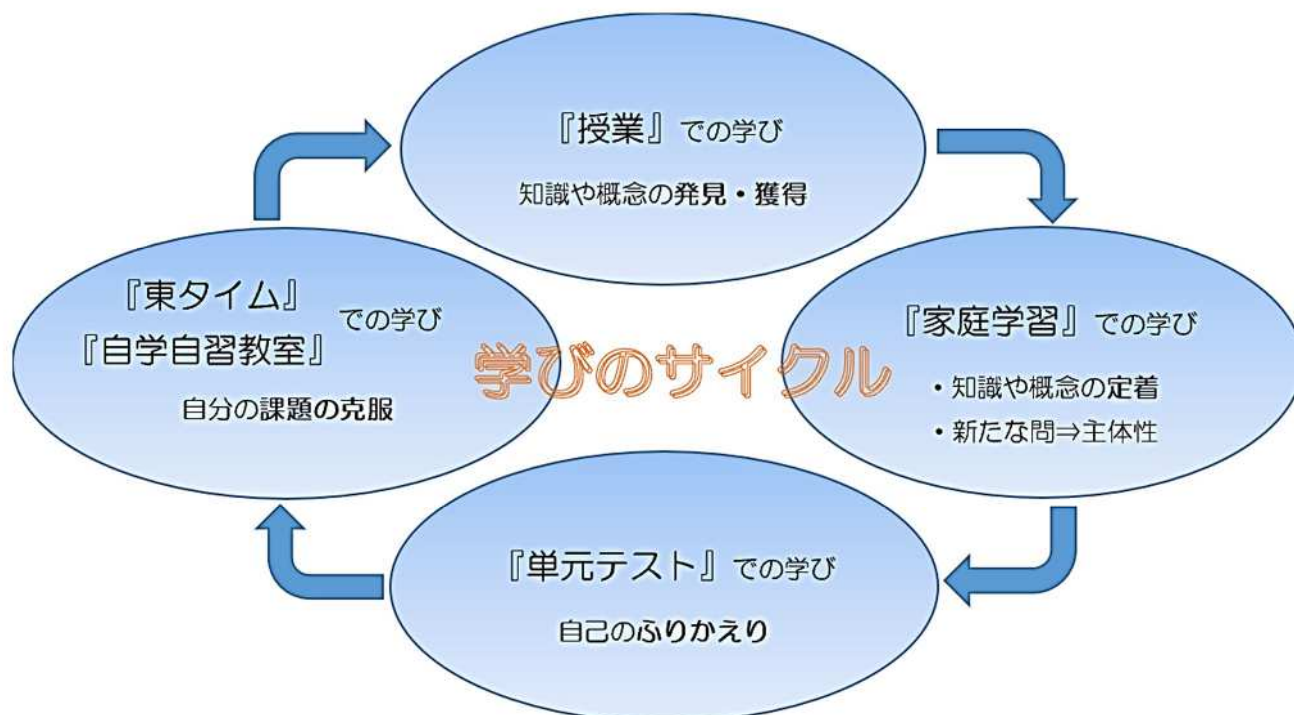


6. 取組の全体構想図

本校の学校改革は、『安心して学ぶことができる環境』と『学びたいことに没頭できる授業』の2軸を充実させることにより、学力の向上を目指す。そのための各種取組の全体構想図を以下に示す。



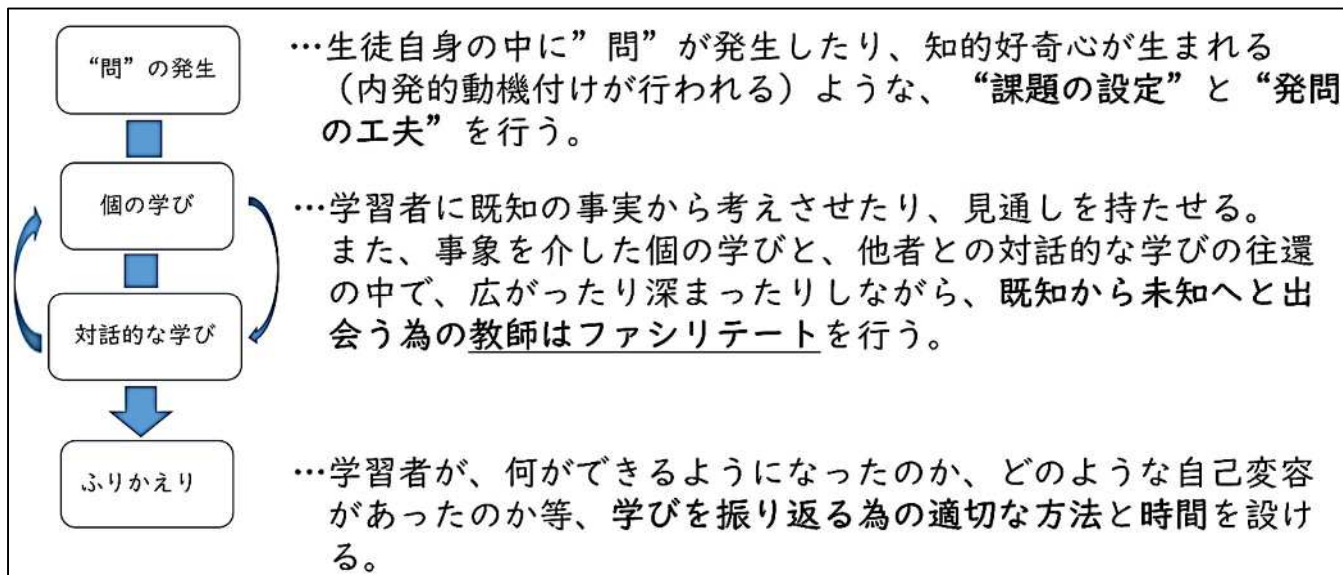
◆目指す“学びのサイクル”



2 授業改革

1. 目的

- ・“学び＝既知なものを使って、未知なものに出会うこと”と定義付ける。
- ・対話構造を構築し、課題解決の中で学び合う授業を目指す。
- ・授業後半に向けて、“没頭ゾーン”に入るような授業展開を目指す。



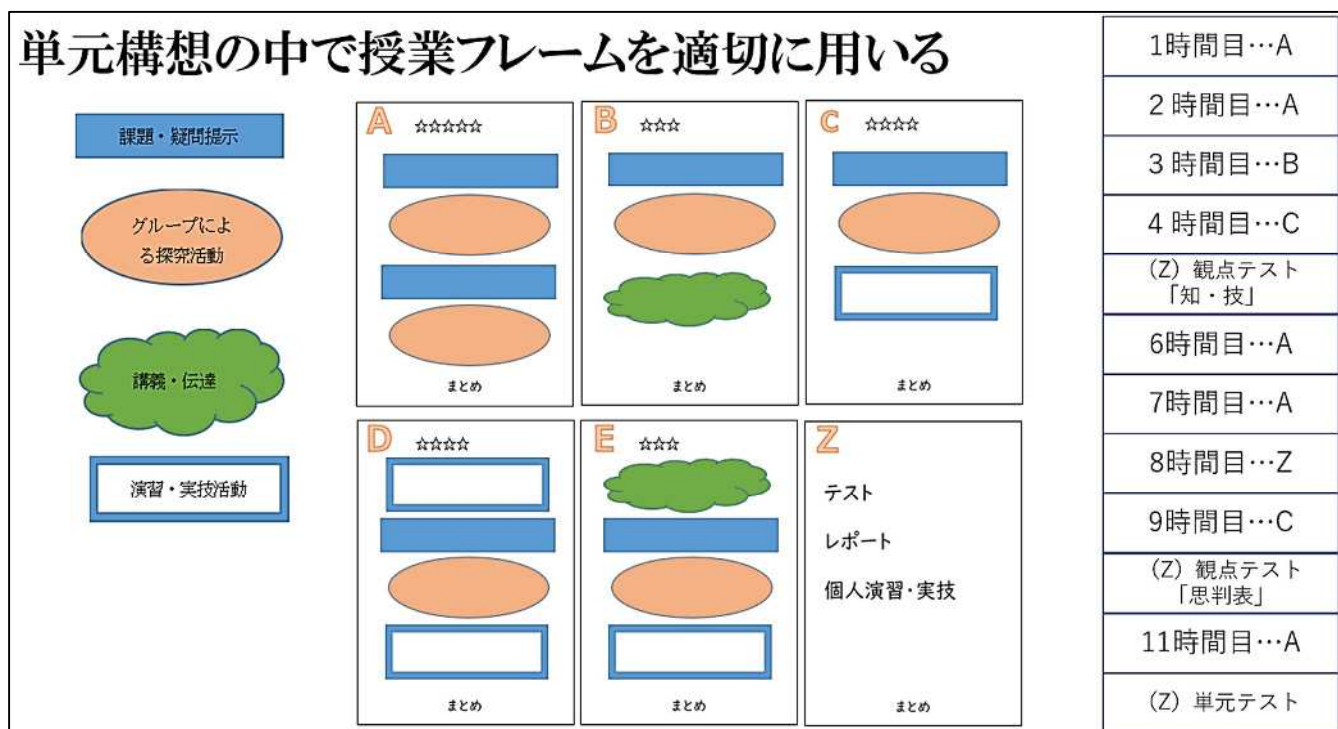
（主体的・対話的で深い学びの授業の姿）

2. 取組内容

- ・単元構想で授業づくりを行う上で、授業のフレームを6個用意する。教科の特性や、その1時間の授業で付けたい資質・能力に合わせ授業形態を適切にフレームから選択できるようにする。

（☆は本校が目指す「主体的・対話的で深い学び」を実現できる度合いを示す。）

単元構想の中で授業フレームを適切に用いる



（授業フレーム）

◆授業力向上チーム

1. 目的

- ・教科を越えた授業改革の推進。
- ・チームでつながる学年を越えた学びの研究。(異学年による学び)
- ・対話による合意形成など切磋琢磨により、個々の意欲と有用感を高める。
- ・個々の授業力の向上

2. 実施方法

- ・1チーム教科を混ぜた4名で構成。
- ・授業力向上週間、校内研究授業での実施。



◆授業力アップサポーター

1. 目的

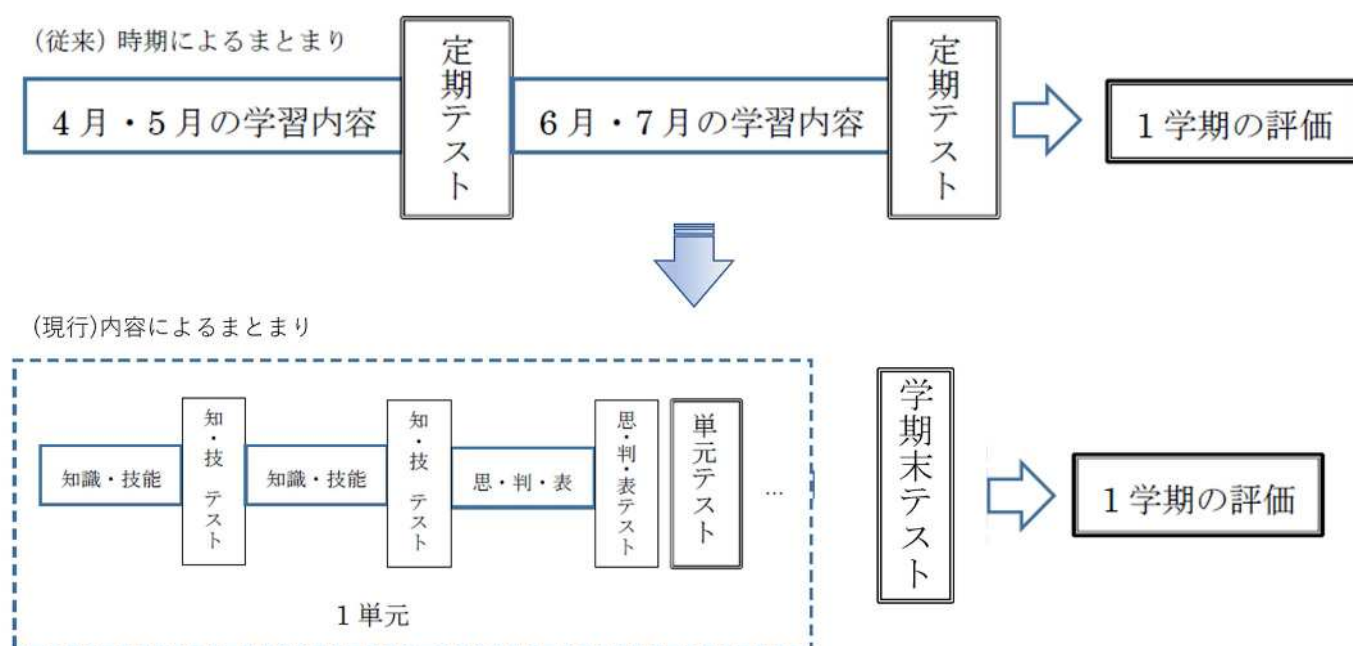
- ・授業改革をさらに推進するために、授業観察やアドバイスをを行う。

2. 実施方法

- ・「授業サポートチーム」を発足する。
- ・定期的に授業観察を行い、助言を行う。
- ・自主研修会を開催する。



3 観点で見た柔軟で妥当な評価方法の選択(単元テスト・学年末テストの実施)



1. 目的

- ・単元(観点)テストを適宜実施することで、スモールサイクルで学びの定着と授業に向かう意識を向上させる。定期テスト前の1週間で詰め込む学習から、日々のスモールサイクルの中で、授業・家庭学習・観点テストが連動するサイクル(学びのサイクル)の構築を目指す。
- ・評価に関して、授業者は定期テストに依存しない、多面的な視点での評価を目指す。
- ・本校の課題である、家庭学習習慣の改善を目指す。

2. 取組内容

- ・授業で学んだ内容から、定期的に単元(観点)テストを実施する。
- ・テスト形式は、ノートの持込を可として授業改善との連携を図る等、柔軟な取組を検討する。
- ・単元テストを実施する際は、クラス間で差が出ないように同じ時限に実施することが望ましい。
- ・学期末には「学期末テスト」を実施することで、学び直しの機会とする。



※学期末テストはあくまで生徒の学び直しの為であり、評価材料の1つであることを共通理解したい。

4 放課後の学習支援

東タイム(HT)

1. 目的

・全生徒を対象に、自分の目標に対するそれぞれの課題に合わせた学びの支援を行う。

2. 取組内容

- ・毎週水曜日 放課後 14:30～15:20
- ・①自学自習ノートの支援、②授業支援、③単元テストの支援を行い、家庭学習と単元テストと関連をもたせる。
- ・学年教員で実施する。



学びの聖地(自学自習教室)

1. 目的

・進路実現に向けて、見通しをもって粘り強く取り組む態度を育成する。

2. 実施方法

- ・1・2年生は部活動停止日の水曜日放課後 14:30～17:00、3年生は部活動引退後の2学期以降毎日実施。
- ・大学生ボランティアが学習支援を行う。
- ・東タイムでは学年教員が学習支援を行うが、学びの聖地では自学自習を基本とする。



(学びの聖地1 R03～)



(学びの聖地2 R06～)

5 生徒による学びの集団づくり

1. 目的

・学校改革プランに生徒が参入する中で、生徒自身の力で学校を変えていくことで自主性を育む。

・生徒に運用をシフトする部分を作ることで、教員の労力減と持続可能性を高める。

※「学習環境づくり」、「生徒による学びの集団づくり」の2つの方向性で取組を考える。

2. 取組内容

・生徒会本部+有志で構成。

・4月の「学び教室」で新入生へ“学び合いの作法”の伝達。

・校内研究授業への参加（参観・協議）。

・夏季リーダー研修会で校則改定や学校の課題について議論し、学校づくりに参画。

・縦割り行事の運営。

・入学者説明会での学校紹介。

学び合いの作法



① 聞く・聴く・訊くを徹底しよう

まずは耳で、次は耳+目+心で、そしてわからないところを訊ねよう。



② 訊かれたときは、相手が納得するまで説明を繰り返そう

自分の言葉でOK、説明できたら理解できているということ！



③ 説明を聴いたあとは反応しよう（拍手、相づち、質問）

説明してくれた友達は勇気をもって表現してくれています。敬意をあらわすことを忘れずに。



④ 1分ルールを守ろう

近くの友達が顔をふせたり参加できていなかったら1分以内に声をかけよう！

【どうしたん？】【大丈夫？】【わかる？】

魔法の言葉【わからへん。教えて】

わからないことは、ダメなことじゃない。ダメなことは、わかることをあきらめること。

（学び合いの作法）



（4月学び教室）



（校内授業研修への参加）

6 One チーム制（複数担任制）

1. 目的

- ・本校の生徒が抱える課題は、家庭環境や家庭の教育力、それらを起因とする問題行動、または学習障害、発達障害など多岐にわたる。様々な課題を抱える子どもたち 1 人 1 人と向き合い、適切な支援を行う為に、これまでの担任、副担任の制度を廃止して、全員が担任として支援する体制をつくる。
- ・若年層教員の増加に伴い、その経験不足を複数担任制によってベテラン教員が業務の中でその知識や経験を伝承することで、OJTの活性化を図る。
- ・これまでの複数担任制に加え、学年チーム（One チーム）としての意識の向上を図る。

2. 取組内容

- ・朝学活、昼食指導、終学活は担任間でローテーションを組んで行う。
- ・教育相談は、担任で分担して行うことを基本とする。また、One チーム制の視点で、学年内教員の希望制度など柔軟に取り組むことも可とする。
- ・三者懇談は、担任で分担して行う。
（若手教員育成や保護者対応のために、複数教員で入ることもある）

One チーム制（複数担任制）について



学校生活は、勉強、部活、友達の事等、悩むことがたくさんある！

もっといろいろな先生と話がしたいな

担任が複数になることで、生徒 1 人 1 人とこれまで以上に関わることができます。先生たちみんなで協力して、みんなの学校生活をサポートします！



Q1. 担任の先生が何人もいたら、どの担任の先生に相談すればいいの？

A1. どの担任の先生でも話しやすい先生を選んでください。今回は A 先生だけど、次は B 先生、のように変えてもいいですよ。



Q2. A 先生とばかり話していたら、B 先生には僕のこと分かってもらえないんじゃないかな。

A2. クラスの生徒 1 人 1 人のことを、担任の先生全員が情報を共有できるように、いつも話し合っていて進めています。



Q3. 家庭訪問や三者懇談はどの先生が来るの？

A3. これは希望制ではなく、曜日や時間によって担当の先生が決まります。



（学校改革生徒用リーフレットより）

◆複数担任制における学級経営のビジョン

学級経営 3つの柱

○生徒指導実践上の4つの視点

(自己存在感の感受・共感的な人間関係の育成・自己決定の場の提供・安心・安全な風土の醸成)

○対話構造の構築 (対話から生徒同士の心を繋ぐ)

○心の教育と学びに向き合うことを最優先

具体的イメージ

(1) 教師が『引っ張る』や『中心になる』ではなく周りから見守る

教師のキャラクターや顧問の立場を利用して学級を経営するのではなく子供たちの繋がりを主軸にする。班から全体に対話構造を作る機会を常にうかがい、たくさんの生徒の多くの声を、教師が一番よく聞いていく。ジャングルジムのようにしっかりと太く丈夫な骨組みを作り、その中で子供が協力しながら全員で自由に登っていくようなイメージ。【いろいろな問題が起こっていい。大事なそれはそれを教材化できるかどうか。それができるならむしろ起こった方がいい。】教師から仕掛けることはあっていい。ペアと共有し学年に共有することを忘れない。

(2) 課題を抱える生徒へは誰かがイニシアチブをとり複数でかかわる

父性と母性を分担するイメージ。一人で関わっていた関わりの度合いを薄めるのではない。今はこの子にはどちらがどの役割をするのかをしっかりと共有する。

ここで心的負担が大きいのはぶつかる父性役の教師。しかし母性役がその後に重要な役を担う。厳しい指導の効果をさらに発展させる関わり。ペア間の信頼関係にも大きく関わる。支援とは何か。指導と支援の違いは『待つ』ということ。一人で考えさせる時間の先に変わろうとする変化が生まれる。

(3) 教師同士もリスペクトの精神で教室にいる

お互いに〇〇先生で呼びあい、敬語を使う。先輩教員であっても教室では立場は同じであることを普段の教室の居方から伝える。教師の力量の差が伝わっている。その中でお互いをリスペクトしあっている関係を示すことこそ人権尊重の指導やいじめ防止につながる。指導の方向性や教育論のぶつかりは子供の前では絶対にしない。

(4) ペア教師の人間関係を学年主任が把握

学年主任会を定期的実施。ペアとの関係を常に学年主任に報告する。必要ならば学年主任→学年主任会→管理職の順に聞き取りが入り指導が入る。ペアの関係を常にオープンに。

7 縦割りによる行事の取組

1. 目的

- ・学年を越えた縦のつながりを通して自己肯定感、自己有用感を育む。
- ・行事に関わる縦割りグループの中で、上級学年が下級学年の手本となることで円滑な伝統の継承を行う。

2. 取組内容

- ・向東祭（体育の部、音楽の部）を各学年3グループに分け、縦グループで実施する。
- ・道徳、学活においても、年間数回縦グループで実施。

年間活動予定

4 月	各学年縦割りグループ メンバー検討	10 月	音楽の部
5 月	各学年縦割りグループ メンバー決定 3 年団長決定	11 月	縦割り学活
6 月	縦割りグループ結団式	12 月	
7 月	音楽の部取組開始	1 月	
8 月	体育の部取組開始	2 月	縦割り道徳
9 月	体育の部	3 月	



（体育の部：縦割りグループでの応援）



（体育の部：全種目を縦割りグループで実施）



（音楽の部 練習風景：3 年生が中心となって進める）



（音楽の部：縦割りグループでの合唱）

8 生徒支援体制

本年度より従来の【生徒指導部】を【生徒支援部】と改編し、『させる』生徒指導から『支える』生徒指導を重視した取り組みを行う。

1. 目的

- ・生徒・保護者と対話する中で、愛着障害・発達障害・補導的側面など様々な視点から、個に応じた必要な支援を見極め実践していく。
- ・生徒一人ひとりの可能性に生徒自らが気づき、引き出し、伸ばすと同時に、社会生活で必要となる社会的資質・能力を身に着けることを支える。
- ・生徒が“学び”に向かうための土壌となる、“安心できる環境づくり”に努める。

2. 取組内容

- ・愛着障害の理論を取り入れた生徒支援
- ・総合育成支援の視点からの生徒指導

生徒支援部	生活補導	
	教育相談（SCコーディネーター）	
	総合育成支援教育	総合育成支援教育
		通級指導・サポートルーム
	生徒会担当	日本語教室
		本部
		中央委員会
		環境委員会
		体育委員会
		図書委員会
	部活動	

9 働き方改革

1. 目的

- ・同僚性を高めることで、「チーム学校」を目指す。
- ・教職員の「働きがい」を高め、笑顔で子どもたちに向き合えるようにする。
- ・超過勤務削減に向けた取組を推進し、心身ともに健やかに働ける職場を目指す。



2. 取組内容

- ・すまいる委員会の設置。
- ・教職員が笑顔になるような取組を企画・運営する。（39プロジェクト、教職員レク）
- ・年休取得の推進を図る。（長期休業日以外の半期に2日の平日に年休取得）

研究同人

山口 達也	角田 千里	中島 朋哉	橋爪 明子
北村 友一	藤木 美輝	李 大佑	佐藤 幸大朗
竹原 和明	和田 高志	野田 司	吉岡 淳史
黒田 実華	萬木 汰門	福井 尚子	伊藤 太亮
林 剣志郎	山口 真緒	山田 祐毅	徳永 大樹
田村 花	與那嶺 樹	岩田 希澄	粟井 菜々子
黒田 ありさ	堀池 敬子	長谷川 雅也	伊東 花菜
藪野 秀樹	橋本 崇美	上田 元司	小西 麻衣
残田 満紀	櫃田 尚美	成田 明日美	田中 大貴
ポール・ハーディング			

竹田 久美子	喜山 伸	原田 功輝	原田 耕平
小泉 純子	庄司 圭	佐川 靖	清水 由美子
田中 佳子	西山 達二		

原 秀樹	奥田 雄亮	藤本 裕之	近藤 駿
中堀 香織	久保村 聡	中原 雅代	小西 麗子
中村 愛	鹿島 弘二	安達 昌美	田淵 始

上畑 直久	内海 真奈美	西村 弘滋	井田 悠
佐々木 浩太郎	山口 萌	村上 謙一	内池 仁
伊澤 知紗	林 ひかり	金 衿佳	芳田 眞佐美
川口 智也	小梶 詩織		

中村 祐之	平井 幹太	坂瀬 慶太郎	佐藤 治
橋岡 優子	辻 泰之	逆水 由紀	村松 伸治
安食 七海	黒田 翔平	今西 舞	岡田 大樹
新田 高志	竹田 裕貴	足名 笙花	兼元 拓哉

《令和2～6年度教職員、順不同》





京都市立向島東中学校

〒612-8124

京都市伏見区向島吹田河原町138番地

電話 075-601-7932

FAX 075-601-8152